

施策評価調書

整理番号 **36**

■ 総合計画(後期基本計画)

政策名	VI うるおい安全都市
施策名	⑧ 消防・防災体制の強化

所管部局	所管部局長の氏名
企画総務部	新井 清宏
市民部	木村 嘉充
建設部	川戸 孝和
消防本部	吉田 件昨

1 関連する個別計画 **PLAN**

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
京丹後市危機管理指針	地域防災計画や国民保護計画により対応を行っている自然災害や武力攻撃等以外の危機事象についての基本的事項について定めたもの	平成20年3月	平成19年度～	
京丹後市国民保護計画	大規模テロや武力攻撃等に際して、迅速かつ確実に国民保護措置を行うため、実施体制、避難や救援に関する事項、平素から備えておくべき事項などについて、定めるもの	平成19年2月	平成18年度～	
京丹後市地域防災計画	市の地域において、災害及び地震の発生により生ずるおそれのある住民、来訪者の生命、身体及び財産並びに地域として有する公共的財産への安全上の脅威及び損害を軽減することを目的に策定。	平成18年2月	平成17年度～	平成20年2月一部変更 平成24年度一部変更予定

2 施策目的(何を対象にどのような状態にしたいのか・どのような状態に持っていきたいのか)

No.	施策目的	関連する施策方針
1	常備消防として、車両資機材の整備及び多様化する建物の利用形態に即した消防活動に対応するとともに、火災予防行政として、多様化する建物の利用形態へ対応するため、職員の資質向上を図り、市民の安心安全に定める。	1 消防本部体制の強化 4 消防本部・消防団・自主防災組織の連携
2	火災や災害発生時に迅速かつ確かな災害防御活動が行えるよう、より消防団活動に参加しやすい環境整備及び活動内容の再検討を行うとともに、現状に応じた均衡の取れた組織再編を行い、市民の安心安全に定めるべく消防団を充実強化する。	2 消防団の強化 4 消防本部・消防団・自主防災組織の連携
3	自主防災組織の設置及び充実に対する支援を行うとともに、消防本部と消防団、自主防災組織が一体となって活動できる体制づくりを進めることで地域防災力の充実・強化を図る。また、防災行政無線などにより正確かつ迅速な災害情報の発信を行い、被災の未然防止及び被害の最小限化を図るとともに、危機管理体制の整備及び危機事象を対象とした対応策の検討により危機管理体制を強化する。これらのことにより、防災体制を強化する。	3 自主防災の強化 4 消防本部・消防団・自主防災組織の連携 6 災害情報の発信 8 危機管理体制の強化
4	住宅地背後の急峻な崖地の崩壊の危険を解消するため、急傾斜地崩壊対策事業を実施することによって崖地崩壊を未然に防止し人命を守る。	5 危険箇所解消による防災対策
5	東日本大震災の被災地等において災害支援活動を行うことにより、被災地の早期復旧・復興を支援する。また、緊急消防援助隊として、全国的な相互応援体制に寄与するため、他消防本部との連携強化を図り、即応体制を強化する。	1 消防本部体制の強化 6 災害情報の発信

3 目標値など

総合計画	めざす目標	指標名	総合計画作成時 (H17)		後期基本計画作成時 (H20)		H23年度実績値 (現状)		目標 (H26)	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度		
	消防設備を充実します	防火水槽(40t有蓋)	558基	H16	579基	H20	577基	H23	603基	H26
	防災体制を強化します	自主防災組織	5団体	H16	74団体	H20	99団体	H23	180団体	H26
		災害時応援協定団体	1団体	H16	48団体	H20	54団体	H23	60団体	H26

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時		H23年度実績値 (現状)		目標	
				年度	年度	年度	年度		
	なし								

4 評価結果一覧

DO

CHECK

施策方針	事務事業 事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業評価結果								施策評価結果			
			H23決算額	H24予算額(一般財源)	根拠法令	単独事業	財政負担	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値	説明	施策目的	施策貢献度	今後の方向性	
1 消防本部体制の強化	1 消防本部総務業務	消防本部	8,545	9,133(9,133)	なし	含む	単費	内部管理	-	-	-	-	1	A	現状維持	
	会議出張、職員制服、事務用品等購入、消防施設の維持管理、職員健康診断の実施															
	2 救急救命士養成業務	消防本部	2,970	3,083(3,083)	国規定	-	単費	内部管理	-	-	-	-	1	S	現状維持	
	救急救命士の計画的な養成(年1人、運用17人)、気管挿管が可能な認定救命士の養成															
	3 消防学校等研修派遣業務	消防本部	3,015	3,702(3,702)	義務	-	単費	-	-	-	-	-	1	S	現状維持	
	府立消防学校・消防大学専科教育・各種研修会等を計画的に受講(受講者数26人)															
	4 予防・警防等業務	消防本部	4,394	6,604(3,768)	義務	-	単費	-	-	-	-	-	1	S	現状維持	
	住宅用火災警報器普及チラシの作成配布、火災予防チラシ等の作成配布、立ち入り検査等の実施、資機材の整備															
2 消防団の強化	1 団員報酬	総務課	43,607	44,393(44,393)	市規定	含む	単費	内部管理	-	-	-	-	2	S	現状維持	
	消防団条例に基づき、階級ごとに報酬を支給															
	2 公務災害補償費等	総務課	44,904	3,697(3,697)	義務	-	単費	-	-	-	-	-	2	S	現状維持	
	公務上で災害を受けた消防団員等に対する災害補償(団員1人)															
	3 団員退職報償金	総務課	38,170	34,656(34,656)	義務	-	単費	-	-	-	-	-	2	S	現状維持	
	5年以上在職して退職した消防団員に対する慰労金の支給(13人)及び掛金の納入															
	4 消防団活動運営事業	総務課	121,789	120,694(120,694)	市規定	含む	単費	サービ	団体	直・委・補・負	6	生命財産権利保護	2	A	縮小	
	消防団の組織運営(団員1,750人)、消防車両等の保守管理(車両88台、車庫119か所)															
3 自主防災の強化	1 全国女性消防操法大会出場事業	総務課	2,144	-	なし	含む	他	サービ	団体	直	2	特定サービ	3	C	終了・廃止	
	市女性消防団員が、全国消防操法大会へ京都府代表として出場															
	2 災害対策一般経費【再掲】8-3	総務課	32,898	11,718(7,108)	市規定	含む	単費	サービ	市民	直・委・補・負	6	生命財産権利保護	3	A	現状維持	
	災害に備え、備蓄資材の購入や各種防災用危機の維持管理を実施															
	消防本部と消防団が定期的に会議を持つなど常に連携している。また、市が実施する防災訓練に自主防災組織も参加するなど連携を図っている。															
	4 消防本部・消防団・自主防災組織の連携															
	5 危険箇所解消による防災対策	1 急傾斜地崩壊対策事業	管理課	11,806	7,500(600)	義務	-	単費	-	-	-	-	-	4	S	現状維持
	京都府が実施した急傾斜地崩壊対策工事の負担金(4か所)															

施策方針	事務事業 事業内容(実績) 担当課		予算額(単位:千円)		事務事業評価結果							施策評価結果			
			H23決算額	H24予算額 (一般財源)	根拠 法令	単独 事業	財政 負担	事業 種別	対象	実施 手法	関与必要性 数値 説明	施策 目的	施策 貢献度	今後の 方向性	
6 災害情報の発信	1 防災行政無線維持管理事業	総務課	36,115	38,504 (23,504)	市規 定	含む	単費	維持 管理	市民	直・委・負	6	生命財産 権利保護	3	S	現状維 持
	2 防災行政無線施設整備事業【明許繰越】	総務課	-	413,860 (60)	平成23年度から平成24年度への繰越事業										
7 建築物耐震化の促進	他施策(住宅の供給と安心できる住環境の整備)における「住宅・建築物耐震改修等事業」などにより実施している														
8 危機管理体制の強化	1 防災会議運営事業	総務課	63	312 (312)	義務	-	単費	-	-	-	-	-	3	S	現状維 持
	2 災害支援対策経費	総務課	3,803	-	なし	含む	単費	サー ビス	他	直	1	該当なし	5	A	現状維 持
	3 災害対策一般経費【3にも該当-2】	総務課	32,898	11,718 (7,108)	市規 定	含む	単費	サー ビス	市民	直・委・ 補・負	6	生命財産 権利保護	3	A	現状維 持
施策方針への位置付けが困難な事業	1 東日本大震災災害支援活動補助金【V-②にも該当】	市民協働課	4,028	3,000 (3,000)	市規 定	含む	単費	サー ビス	団体	補	2	特定サー ビス	5	A	統合 (整理)
		計	452,148	847,595 (340,465)											

※ 合計金額には再掲事業は含んでおりません。

5. 今後の施策展開について

ACTION

財源が減少していく中で、効率的・効果的に施策を推進するために、どのように施策展開を図っていくのか	No.	歳出抑制の考え方	補完・代替措置などがある場合は、その内容
	1	団員確保の厳しい地域がある中、効率的・効果的な消防活動により地域の安全を守るため、団員数・資機材等の在り方を検討する。	

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	02消防本部総務業務
細事業名	01 消防本部総務業務			決算書 P.276
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
8,545千円		8,771千円	226千円	97.4%
目的	365日24時間体制の常備消防活動を維持運用するため、消防業務の企画や調整、消防施設の管理及び消防職員の士気や知識の向上、被服等貸与及び安全管理等を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>消防長会、府立消防学校、消防・防災関連会議等への出席調整、制服等職員貸与品の購入、事務用品、コピー、電話代金支払い等の事務を行った。</p> <p>消防活動に万全の体制で対応できるよう、職員の健康管理・増進事業について積極的に取り組んだ。</p> <p>※消防職員 消防吏員95人 事務吏員1人 計96人（平成24年3月末日）</p>			
	<p>【主な支出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費 419千円 消防長会、消防職員意見発表会、消防無線デジタル化会議等 ・消耗品費 4,731千円 現任職員貸与被服等購入（制服、作業服、革手袋ほか） 1,202千円 新採用職員3人貸与被服等購入（制服、作業服、保安帽ほか） 1,263千円 仮眠寝具（12人分：マットレス） 183千円 コピー代、法令関係図書、事務用品等 2,083千円 ・通信運搬費 1,356千円 NTT電話料金（署所一般基本料・通話料、携帯電話基本料・通話料）、メール便等料金、久美浜有線放送料金等 ・肝炎ウイルス検診委託料（新規採用職員3人） 85千円 ・職員健康診断委託料 692千円 潜水業務健康診断（16人）、B・C型肝炎抗体検査（79人） 労働安全衛生法に基づく消防職員第2回目健康診断料（74人）ほか ・コピー機借上料、印刷機使用料、テレビ受信料等 450千円 ・全国消防長会等負担金等 401千円 ・その他事務経費 411千円 			
主な財源	諸収入 市有自動車損害共済金			146千円
評価・課題等	<p>○市民の消防活動に対する期待が高まり、業務が高度・専門化する中、365日24時間体制の常備消防活動の維持運用を行うことができた。</p> <p>○事務・消耗品等の発注は、本部総務課で一括で行うなど経費の削減に努めた。</p> <p>○消防職員として必要な健康管理や増進事業について、経費を抑えつつ積極的に取り組めた。</p>			
事業所管課	消防本部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	03消防訓練・研修業務	
細事業名	01 救急救命士養成業務			決算書	P.278
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率
2,970千円		3,010千円		40千円	98.6%
目的	医師の指示の下、救急車で救急救命処置が行える救急救命士を、常時乗車させて活動させることができるよう計画的な養成及び気管挿管が可能な認定救命士の養成を行う。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成5年から毎年1人ずつ救急救命士を新規養成しており、平成23年度は1人を養成した。気管挿管実習等に職員派遣を行った。平成24年3月末日現在、救急救命士は、運用救命士17人（うち認定救命士8人）である。</p> <p>【主な支出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別旅費 220千円 救急救命士養成（救命士九州研修所1人） ・職員研修委託料 440千円 救急救命士資格取得後病院研修委託（受講者1人） 5千円×20日×1人 100千円 現任救急救命士病院研修委託（受講者17人） 5千円×4日×17人 340千円 ・救急救命士養成負担金 2,310千円 新規養成 救命士九州研修所派遣（1人 9月～3月） 2,010千円 気管挿管 病院実習（1人） 300千円 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○市民の救急救命士に対する期待は高く、出動件数は、平成23年2,591件（平成22年2,450件、5.8%増）、搬送人数は、平成23年2,449人（平成22年2,303人、6.3%増）と増加している。</p> <p>○市民の生命を守るため、救急救命士を今後も計画的に養成していく必要がある。</p>				
事業所管課	消防本部／総務課				

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	03消防訓練・研修業務	
細事業名	02 消防学校等研修派遣業務			決算書	P.278
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率
3,015千円		3,074千円		59千円	98.0%
目的	複雑多様化する消防業務に対応するため、災害救助、救急訓練及び研修等に参加し、最新の専門技術や知識を学ぶとともに、消防活動に必要な各種資格を取得する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京都府立消防学校や京都府消防長会等が主催する各種研修会等に計画的及び積極的に参加し、消防職員としての資質向上を図った。</p> <p>【主な支出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費 1,422千円 府立消防学校の入校、各種専科教育、各種研修会、講習会 ・消防学校専科等研修負担金 1,152千円 府立消防学校（八幡市）初任教育入校（3人 4月～11月） 警防科（2人）中級幹部科（2人）予防査察科（2人） 救急科（2人）危険物科（3人）特別教育（1人） 計15人 ・各種講習会受講負担金 314千円 ロープレスキュー（2人）、陸上特殊無線技師（1人）、 潜水土（1人）、玉掛け技能（2人）、ガス溶接技能（2人）、 小型移動式クレーン運転（2人） 酸素欠乏硫化水素危険作業主任者（1人） 計11人 ・大型自動車免許取得補助金（2人） 98千円 49千円×2人 ・その他の研修経費等 29千円 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○あらゆる場面を想定した災害・救助救急訓練、研修等に参加し、最先端の高度・専門技能や知識を学ぶことで、職員の資質を向上させることができた。</p> <p>○地震や原子力災害に対応する大規模災害等を想定した研修会等に積極的に参加し、資質向上に努める必要がある。</p>				
事業所管課	消防本部／総務課				

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	04予防・警防等業務
細事業名	01 予防・警防等業務			決算書 P.278
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
4,394千円		4,692千円	298千円	93.6%
目的	住宅用火災警報器普及に積極的に取り組み、火災予防のためチラシ等の作成配布、防火講習会を行い、事業所等への立ち入り検査等の実施。消防活動に必要な資機材の整備を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>住宅用火災警報器普及のため、消防職員全員によるチラシ配布及び説明を行った。火災の発生防止のために、防火チラシの作成配布、防火ポスターの募集及び防火座談会等を開催するなど啓発活動を行った。また、事業所等の立ち入り検査・指導等を行った。</p> <p>新型インフルエンザ対応として感染防護具の計画的な購入、救助活動用資機材の購入、消火活動用資機材の購入を行い、消防活動に必要な資機材の更新・整備を図った。</p>			
	【主な支出】			
	・報償費			64千円
	防火ポスター表彰記念品等（457人）			
	・消耗品費			1,581千円
	防火管理者資格取得講習会テキスト購入ほか			
	住宅用火災警報器普及推進物品、救助活動用資機材			
	新型インフルエンザ感染防護資機材等			
	・印刷製本費			338千円
	年末・春季火災予防運動啓発ビラ 計26,000枚			
	「火災予防運動防火ポスター」印刷900枚（市内小学4年生の入選図画使用）			
	住宅用火災警報器普及啓発用印刷物等			
	・修繕料			473千円
	空気呼吸器修理、水難救助資機材分解点検等			
	・原材料費			256千円
	火災予防運動用工作物材料費（塗料、塩ビパイプ、L型鋼等）			
	・備品購入費			976千円
	消防活動用資機材等（消防用ホース16本）			
	水難救助活動用資機材（潜水装備品：ウェットスーツ・ヘルメット他）			
	・その他経費等			706千円
主な財源	手数料	消防手数料		874千円
	諸収入	防火管理者資格取得講習料		376千円
評価・課題等	<p>○住宅用火災警報器普及のため、消防職員全員で市民への説明やアンケート調査を行い、設置普及率の向上に努めた。</p> <p>○火災発生件数は、昨年度と同数であるが火災防止啓発にさらに努める必要がある。（火災発生件数：平成23年 21件、平成22年 21件、平成21年 12件、平成20年 18件）</p> <p>○資機材の修理も目立ってきており計画的な点検、整備をする必要がある。</p>			
事業所管課	消防本部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	05救急業務
細事業名	01 救急活動業務			決算書 P.280
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
6,379千円		6,742千円	363千円	94.6%
目的	24時間体制で行う救急活動及び資機材の整備や保守を行い、救急救命士が医師からの指示を受ける救命指示センターと連携を図る。丹後MC協議会を通じ救急活動の検証を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>迅速かつ的確な救急業務を行うため、資機材等の整備充実と職員の資質向上に努めた。救急出動件数は、平成21年は2,187件、平成22年は2,450件、平成23年は2,591件（前年比141件、5.8%の増）、搬送人員は、平成21年は2,086人、平成22年は2,303人、平成23年は2,449人（前年比146人、6.3%の増）と増加している。C型肝炎、新型インフルエンザなどに対する感染防止への対応強化を行った。</p> <p>【主な支出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費 187千円 救急管外搬送 ・消耗品費 2,377千円 滅菌ガーゼ・毛布など救急活動で使用する消耗品 現場用ゴム手袋を始め、使い捨てを基本とするものやAEDバッテリー等の耐用年限経過による交換が必要な消耗品 ・クリーニング手数料（救急業務で使用した毛布等） 62千円 ・産業廃棄物処理手数料（救急業務により生じたガーゼ等の汚物処理） 170千円 ・京都市救急指示センター委託料 1,498千円 24時間体制で医師が1人待機し、救急救命士の救命行為に指示 ・高度救急医療器材定期点検保守委託料 1,077千円 除細動器、患者監視装置などの医療器材を年2回の整備保守 ・備品購入費（救命処置訓練用人形部品購入） 620千円 ・丹後メディカルコントロール協議会負担金 120千円 救命救急業務向上のため、北丹医師会、与謝医師会、救急指定4病院、丹後保健所、丹後広域振興局と連携し協議会を組織 ・その他経費等 268千円 			
主な財源	国負	緊急消防援助隊活動費負担金		25千円
評価・課題等	<p>○市民の生命・身体・財産を守り、安心、安全の京丹後市をつくるため、365日24時間体制で救急要請を受け、出動した。</p> <p>○高度な救命救急体制の対応が必要となり、研修及び訓練等の充実が必要となっている。</p>			
事業所管課	消防本部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	06通信指令業務
細事業名	01 通信指令業務			決算書 P.280
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
22,182千円		22,257千円	75千円	99.6%
目的	365日24時間体制で市民等からの火災、救急及び救助等の緊急要請を受ける119番通信指令システムに不具合が生じないよう、常に適切な保守や整備等の維持管理を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>365日24時間体制で市民等からの火災・救急等の通報を受け、コンピュータ制御による地図検索装置と発信地表示装置を活用し、すばやく災害の発生地点を特定、必要な消防車両等の出動指令、防災無線広報など災害対応を行った。</p> <p>119番通信指令システムに不具合が生じないよう、定期的な保守点検に努め、適切な維持管理を行った。</p> <p>【主な支出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報償費（防災用音声合成装置吹き込み謝金 毎月1回） 39千円 ・消耗品費 193千円 携帯無線機用電池パック、プリンタートナー、モニター用ケーブル等 ・修繕料 3,858千円 消防緊急通信指令施設定期保守交換部品費等 ・通信運搬費（NTT専用回線料） 4,693千円 指令回線（署所音声指令用、地図伝送用）119番受信用回線 ・委託料 11,160千円 消防緊急通信指令施設保守業務委託料 7,686千円 緊急通報用電話発信地表示システム運行委託料 2,139千円 消防法改正に伴う消防OAソフトウェア変更業務委託料 735千円 聴覚言語障害者用緊急システム運行委託料等 600千円 （聴覚言語障害者の方が携帯電話を使って「119番通報」できるシステム） ・使用料及び賃借料 2,239千円 消防本部パソコン借上料 			
	主な財源	諸収入 光アクセス装置設置電気料		
評価・課題等	<p>○市民等から増加する119番受信件数に対して、コンピュータ制御のシステムに支障をきたすことなく、災害対応をすることができた。119番受信件数は、平成23年3,649件（平成22年3,693件、1.2%の減）である。</p> <p>○器材の経年劣化による修繕・交換は避けられないので、今後も計画的に整備する必要がある。</p>			
事業所管課	消防本部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	07庁舎等維持管理事業
細事業名	01 庁舎等維持管理事業			決算書 P.280
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
17,523千円		17,546千円	23千円	99.8%
目的	火災・救急等に備える施設である消防庁舎、消防車両等について、適切な維持管理及び保守点検等を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>消防庁舎は、火災・救急活動等に備える施設であり、職員が適切に活動できるよう職場環境の整備に努めた。また、消防車両は、災害現場の第一線で活躍する車両であり、何時災害が発生しても万全の状態での出動できるよう、その機能、安全性の保守整備に努めた。</p> <p>【主な支出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消耗品費（トイレットペーパー・蛍光管・洗剤等） 358千円 ・ 燃料費 5,468千円 <ul style="list-style-type: none"> 車両関係燃料（ガソリン・軽油代） 3,844千円 施設関係燃料（灯油、ガス代） 1,624千円 ・ 光熱水費（4署所の電気料金・上下水道料金） 6,483千円 ・ 修繕料 3,127千円 <ul style="list-style-type: none"> 施設関係修繕（仮眠室エアコン、トイレブース修繕ほか） 461千円 車両関係修繕（18台） 2,666千円 <ul style="list-style-type: none"> 車検（5台）・定期点検（3か月（大型のみ）、6・12か月）修理ほか ・ 公用車車検経費5台分（自動車登録手数料、自動車重量税） 639千円 ・ 通信指令室空調設備保守点検業務委託料・キュービクル設備等保安管理委託料 186千円 ・ 自動車損害保険料（18台） 675千円 ・ 清掃用具借上料（モップ・マット 4署所） 270千円 ・ 備品購入費（消火器、洗濯機、掃除機） 205千円 ・ その他経費等 112千円 			
主な財源	使用料	公有財産使用料		166千円
	国負	緊急消防援助隊活動費負担金		71千円
	諸収入	市有自動車損害共済金		275千円
評価・課題等	<p>○365日24時間職員が適切に活動できるよう消防庁舎の環境整備をすることができた。</p> <p>○消防車両は、火災、救急、災害等発生の際、適切に出動することができた。</p>			
事業所管課	消防本部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	01団員報酬・公務災害補償費等
細事業名	01 団員報酬			決算書 P.282
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①	最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率
43,607千円	43,608千円		1千円	99.9%

目的	消防団条例に基づき、階級ごとの報酬を支給する。								
主要な事務・事業及び成果の概要	○ 団員報酬（年2回支払）							43,607千円	
	団員一人当たりの階級別年間報酬額								
	団長	189千円	指導員	50千円					
	副団長	123千円	部長	43千円					
	分団長	96千円	班長	33千円					
	副分団長	57千円	団員	19千円					
	(参考) 京丹後市消防団員数内訳 (条例定員：1,805人)								
	年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	本部	11	11	14	13	16	14	14	12
	峰山町	370	368	362	362	360	361	361	359
大宮町	289	290	287	284	285	283	284	281	
網野町	423	419	418	418	410	414	411	411	
丹後町	239	242	242	239	238	238	234	236	
弥栄町	218	218	216	213	210	212	211	209	
久美浜町	242	241	240	240	240	239	241	242	
合計	1,792	1,789	1,779	1,769	1,759	1,761	1,756	1,750	
不足数	△ 13	△ 16	△ 26	△ 36	△ 46	△ 44	△ 49	△ 55	
*本部は、団長及び女性消防団員数（各年4月1日現在）									
主な財源									
評価・課題等	○条例に基づいた支給を行った。 ○消防団員の確保が年々厳しくなる状況の中、災害時等の有事の際、市民の生命及び財産を守るため、引き続き団員確保に努める必要がある。								
事業所管課	企画総務部／総務課								

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	01 団員報酬・公務災害補償費等	
細事業名	02 公務災害補償費等			決算書	P.282
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市		計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率
44,904千円		44,918千円		14千円	99.9%
目的	消防団員等が公務上の災害を受けた場合に損害賠償や災害補償を行う。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>公務災害補償制度（消防団員等公務災害補償等共済基金）や住民参加の防火訓練における災害補償制度（日本消防協会）を活用し、消防団員等が火災や訓練での公務上の災害を受けた場合の損害賠償や災害補償を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公務災害補償費 消防団員1人分 52千円 ○ 消防団員公務災害補償費掛金 44,790千円 （条例定数1,805人、消防・水防作業59,044人） ※当初掛金 3,636,154 円 （団員 1,900円/人 消防・水防作業 3.5円/人） ※追加掛金 41,154,000 円 （東日本大震災に伴う追加掛金 団員22,800円/人） ○ 防火防災訓練災害補償費掛金 62千円 62,723人（平成17年国勢調査人口）×1円 ※千円未満切捨て 				
主な財源					
評価・課題等	制度に基づく事業内容を継続することで、消防団員等の公務災害に備えることができた。				
事業所管課	企画総務部／総務課				

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	02団員退職報償金	
細事業名	01 団員退職報償金			決算書	P.282
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率
38,170千円		38,170千円		0千円	100.0%
目的	5年以上在職し退職した消防団員に対する慰労金として、その団員の在職年数や階級に応じて支給する。また、その支給のための掛金を基金に支払う。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>消防団員が、5年以上在職し退職した場合に退職報償金が支給される。退職報償金は、消防団員の労苦に対する慰労金としての性格を持つもので、その団員の在職年数や階級に応じて支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 退職報償金（13人分） 3,514千円 ○ 消防団員退職報償金掛金（条例定数1,805人×定額19,200円） 消防団員等公務災害補償等共済基金への掛金 34,656千円 				
主な財源	諸収入 消防団員退職報償金				3,514千円
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○消防活動の労苦に対する慰労金として、退職した消防団員に退職報償金を支給した。 ○今後の退職報償金の支給のため、消防団員退職報償金掛金を支出した。 				
事業所管課	企画総務部／総務課				

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	03消防団活動運営事業
細事業名	01 消防団活動運営事業			決算書 P.282
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
121,789千円		122,367千円	578千円	99.5%
目的	消防団員として有事の際の出動、資質向上や技能習得のために必要な訓練及び予防活動等のほか、消防車両等の維持管理を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>消防団の運営及び活動に対する経費で、分団・部等の運営費及び出動手当のほか、消防車両等の維持管理経費等を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 消防団運営活動謝金 62,306千円 (本部、分団、部、指導員、ラッパ鼓隊、女性団員) ○ 防災訓練謝金・夏季訓練謝金 3,534千円 ○ 消防団員定例表彰等に係る表彰状・徽章・筆耕経費等 284千円 ○ 消防団出動手当・訓練手当、職員旅費等 24,837千円 ○ 消耗品費(活動服、ヘルメット、長靴、手袋等) 7,791千円 ○ 消防車両維持管理経費(88台分) 12,989千円 (燃料代、修繕料、車検代行料、保険料、自動車重量税等) ○ 消防車庫維持管理経費(119施設分) 2,868千円 (電気・上下水道代、し尿汲取手数料、火災保険料) ○ ポンプ自動車(36台分)・小型ポンプ(26台分)点検委託料 313千円 ○ 消防学校入校、大会参加バス借上料等 716千円 ○ 出初式(丹後文化会館)会場借上料等式典経費 103千円 ○ 辞令交付式(アミィ丹後)会場借上料 ※H24.3.31前日準備分 12千円 ○ 防火水槽、消防車庫、消防ポンプ格納庫等土地借上料 (11か所、2,543.34㎡) 137千円 ○ 火災予防ステッカー作成経費 44千円 ○ 消防団員福祉共済掛金(3,000円×1,750人) 5,250千円 ○ 京都府消防協会京丹後市支部補助金 365千円 ○ 消火栓ボックス等ごみ処理手数料、消火器処理手数料 14千円 ○ 関電柱・NTT柱サイレン共架料 13千円 ○ 消防車両事故等による損害賠償金(3件分) 213千円 			
主な財源				
評価・課題等	消防団の運営に対する支援や維持管理はできているが、組織や資機材の配置などの再編を検討・実施する必要がある。			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	04消防設備維持管理事業																							
細事業名	01 消防設備維持管理事業			決算書 P.284																							
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化																							
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率																							
17,569千円		17,570千円	1千円	99.9%																							
目的	消火活動に必要な消火栓の維持管理費用として、設置数に応じて簡易水道事業特別会計及び水道事業会計へ繰り出す。																										
主要な事務・事業及び成果の概要	消火活動に欠かせない消火栓の維持管理費として、消火栓の箇所数に応じて水道事業会計及び簡易水道事業特別会計への繰出金を支出した。																										
	○ 水道事業会計分	5,400円×1,250基	6,750千円																								
	○ 簡易水道事業特別会計分	5,400円×1,961基	10,590千円																								
	<p>【消火栓の維持管理、設置内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>水道会計 管理基数</th> <th>簡水会計 管理基数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>444</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>289</td> <td>199</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>378</td> <td>219</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>139</td> <td>239</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td></td> <td>353</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td></td> <td>944</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,250</td> <td>1,961</td> </tr> </tbody> </table>				区分	水道会計 管理基数	簡水会計 管理基数	峰山町	444	7	大宮町	289	199	網野町	378	219	丹後町	139	239	弥栄町		353	久美浜町		944	合計	1,250
区分	水道会計 管理基数	簡水会計 管理基数																									
峰山町	444	7																									
大宮町	289	199																									
網野町	378	219																									
丹後町	139	239																									
弥栄町		353																									
久美浜町		944																									
合計	1,250	1,961																									
○ 地下式消火栓に起因する事故賠償金（1件）			229千円																								
主な財源																											
評価・課題等																											
事業所管課	企画総務部／総務課																										

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	03防火水槽整備事業	
細事業名	01 防火水槽整備事業			決算書	P.286
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率
7,508千円		7,508千円		0千円	100.0%
目的	防火水槽の整備は、火災時における消防水利として必要かつ有効であり、用地が確保され消防水利の基準により充足率の低い地域から順次整備を実施する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>国道312号の拡幅工事に付随し既設の防火水槽を撤去することに伴い、周辺の消防水利確保を目的に、京都府の補償工事として新たに設置した。</p> <p>○ 防火水槽の新設 1基（40m³、耐震性鋼製品） 久美浜町橋爪地内 7,508千円</p>				
主な財源	諸収入 防火水槽移設補償金				6,083千円
評価・課題等	国道拡幅による既設防火水槽の撤去に伴い、京都府の補償工事により防火水槽を設置し、消防水利を確保した。				
事業所管課		企画総務部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	04消火栓整備事業
細事業名	01 消火栓設置事業			決算書 P.286
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
18,087千円		18,089千円	2千円	99.9%

目的 初期消火等に大変有効な消火栓の設置等について、地区要望及び周辺の水利状況等を考慮し、計画的に整備する。

主要な事務・事業及び成果の概要

○ 消火栓工事 18,087千円

【工事施工概要】 (単位：基)

区分	新設		改修		移設		合計
	地下式	地上式	地下式	地上式	地下式	地上式	
峰山	3	0	0	0	0	0	3
大宮	1	0	0	0	0	0	1
網野	0	1	0	1	0	4	6
丹後	0	1	0	3	0	0	4
弥栄	1	0	1	0	0	0	2
久美浜	2	2	19	5	0	0	28
合計	7	4	20	9	0	4	44

主な財源

市債	消防防災施設整備事業債（過疎対策債）	11,700千円
市債	消防防災施設整備事業債（合併特例債）	6,000千円

評価・課題等

○消防水利の不足した地域への新設に加え、水道管布設替工事に伴う老朽化した既設消火栓の更新工事等を実施することで、消防水利を確保した。
○今後も継続して事業実施し、初期消火を有効に行うことができる環境の整備に努めていく必要がある。

事業所管課 企画総務部／総務課

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	04消火栓整備事業
細事業名	02 消火栓ボックス等整備事業			決算書 P.286
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①	最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率
821千円	885千円		64千円	92.7%

目的	消火栓の新設及び老朽化等に伴う消火栓備品を設置・更新する。																																											
主要な事務・事業及び成果の概要	7月に判明した消火栓備品の盗難により、緊急的に補充した。																																											
	○ 消火栓備品（盗難・不足補充分）					771千円																																						
	(単位：本)																																											
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="4">盗難補充分</th> <th rowspan="2">不足補充分</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>峰山町</th> <th>大宮町</th> <th>弥栄町</th> <th>久美浜町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消火栓用ホース</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>管鎗（ノズルは噴霧タイプでない）</td> <td>0</td> <td>55</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>消火栓開閉ハンドル（地下式用）</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>単口式スタンドタイプ（地下式用）</td> <td>5</td> <td>64</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table>						品名	盗難補充分				不足補充分	計	峰山町	大宮町	弥栄町	久美浜町	消火栓用ホース	0	4	0	0	1	5	管鎗（ノズルは噴霧タイプでない）	0	55	0	4	1	60	消火栓開閉ハンドル（地下式用）	0	1	0	0	1	2	単口式スタンドタイプ（地下式用）	5	64	5	0	1
品名	盗難補充分				不足補充分	計																																						
	峰山町	大宮町	弥栄町	久美浜町																																								
消火栓用ホース	0	4	0	0	1	5																																						
管鎗（ノズルは噴霧タイプでない）	0	55	0	4	1	60																																						
消火栓開閉ハンドル（地下式用）	0	1	0	0	1	2																																						
単口式スタンドタイプ（地下式用）	5	64	5	0	1	75																																						
	○ 消火栓備品（その他）																																											
	脚付屋外型ホース格納箱（スチール製）				4台	50千円																																						
主な財源																																												
評価・課題等	<p>○火災発生時の初期消火のため、緊急的に補充して有事に備えた。</p> <p>○再発防止策として格納箱に施錠することは困難なため、設置箇所周辺の方や消防団に協力をお願いするなど、これまで以上の管理徹底が必要である。</p>																																											
事業所管課	企画総務部／総務課																																											

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	50消防施設一般経費	
細事業名	01 消防施設一般経費			決算書	P.286
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市		計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率
3,828千円		4,041千円		213千円	94.7%
目的	消防活動を円滑に行うために必要な消防資機材、消防水利等を維持管理する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	消防活動を円滑に行うため、消防資機材や車庫、消防水利等の維持管理を行った。				
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消防車庫シャッター・雨樋・外灯修繕等関連経費 671千円 ○ 消防無線等修繕関連経費 24千円 ○ 防火水槽修繕等関連経費（漏水・標識等） 600千円 ○ 小西川可動堰電気料 57千円 ○ 奥大野消防車庫給水管引込工事関連経費 160千円 ○ その他修繕（消火栓 3か所） 28千円 ○ 消防用ホース購入代（85本） 1,869千円 ○ 消防用無線機購入代（5台） 419千円 				
主な財源					
評価・課題等	消防車庫や防火水槽など故障箇所の修繕や、各車両に積載するホースや消防無線の更新を行い、有事の際に円滑に消防活動ができるよう維持管理を行った。				
事業所管課	企画総務部／総務課				

予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	05全国女性消防操法大会出場事業
細事業名	01 全国女性消防操法大会出場事業			決算書 P.288
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
2,144千円		2,178千円	34千円	98.4%
目的	財団法人日本消防協会が主催する「第20回全国女性消防操法大会」へ京都府代表として出場する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	平成23年10月19日（水）、横浜市で開催された「第20回全国女性消防操法大会」へ出場するための訓練・大会参加経費等を執行した。			
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国女性消防操法大会へ向けての訓練謝金 338千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1,500円×延225人分（訓練回数44回） ○ 大会参加（2泊3日）ほか経費 652千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 正副団長旅費（2人）、女性隊員旅費（8人） 260千円 <ul style="list-style-type: none"> ※内、隊員7人分の旅費の一部は、主催者側から支給 ・ 随行職員旅費（5人） 308千円 ・ バス運転委託料 23千円 ・ 有料道路通行料 7千円 ・ 移動用公用車燃料代 13千円 ・ ポンプ点検修理代 41千円 ○ 訓練用消耗品費等 393千円 ○ 女性消防操法用D-1級可搬ポンプ一式購入 761千円 			
主な財源	府補	未来づくり交付金（全国女性消防操法大会出場事業）	350千円	
	諸収入	コミュニティ助成事業	700千円	
評価・課題等	<p>○大会本番では約5か月に及ぶ訓練の成果を発揮し、京都府代表隊として素晴らしい操法を披露した。</p> <p>○今後は、今回の経験を、女性消防団員の主な活動である防火広報や啓発など予防活動へ生かしていく必要がある。</p>			
事業所管課		企画総務部／総務課		

予算科目	08土木費	03河川費	01河川総務費	01急傾斜地崩壊対策事業																														
細事業名	01 急傾斜地崩壊対策事業			決算書 P.264																														
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化																														
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率																														
11,806千円		11,806千円	0千円	100.0%																														
目的	住宅地背後の急峻な崖地の崩壊の危険を解消し、市民の人命を守るため急傾斜地崩壊・防災対策事業を推進する。																																	
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>住宅地背後の急峻で危険な崖地のある市内4地区（4か所）の急傾斜地において、急傾斜地崩壊対策事業を実施したことによって崖地崩壊を未然に防止するとともに、人命及び財産を守ることができた。</p> <p>○ 急傾斜地（崩壊対策・防災対策）事業等負担金 11,806千円 京都府負担金：4地区分 事業費168,080千円×市負担率（5/100～20/100）</p> <p>（実施事業等） (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業名</th> <th rowspan="2">箇所名</th> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">市負担額</th> </tr> <tr> <th></th> <th>うち地元分担金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">急傾斜地崩壊対策事業</td> <td>丹後町間人谷</td> <td>81,000</td> <td>4,050</td> <td>1,620</td> </tr> <tr> <td>久美浜町河梨</td> <td>50,400</td> <td>2,520</td> <td>625</td> </tr> <tr> <td>峰山町五箇</td> <td>13,000</td> <td>500</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>急傾斜地防災対策事業</td> <td>網野町新庄</td> <td>23,680</td> <td>4,736</td> <td>473</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>168,080</td> <td>11,806</td> <td>2,848</td> </tr> </tbody> </table>				事業名	箇所名	事業費	市負担額			うち地元分担金	急傾斜地崩壊対策事業	丹後町間人谷	81,000	4,050	1,620	久美浜町河梨	50,400	2,520	625	峰山町五箇	13,000	500	130	急傾斜地防災対策事業	網野町新庄	23,680	4,736	473	合計		168,080	11,806	2,848
	事業名	箇所名	事業費	市負担額																														
				うち地元分担金																														
急傾斜地崩壊対策事業	丹後町間人谷	81,000	4,050	1,620																														
	久美浜町河梨	50,400	2,520	625																														
	峰山町五箇	13,000	500	130																														
急傾斜地防災対策事業	網野町新庄	23,680	4,736	473																														
合計		168,080	11,806	2,848																														
主な財源	分担金 急傾斜地崩壊対策事業分担金 2,848千円 市債 急傾斜地崩壊対策事業債（防災対策事業債） 4,200千円 市債 急傾斜地崩壊対策事業債（未来づくり資金） 3,900千円																																	
評価・課題等	○事業主体である京都府の年次計画に沿って要望の高い危険な地区において事業を実施し、順次崖地崩壊の危険を解消している。 ○市内に多数存在する危険な急傾斜地において、より多くの事業実施が図られるよう京都府に対し継続的に事業実施を求めていく必要がある。																																	
事業所管課	建設部／管理課																																	

予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	02防災行政無線維持管理事業														
細事業名	01 防災行政無線維持管理事業			決算書 P.286														
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化														
決算額 ①	最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率														
36,115千円	36,394千円		279千円	99.2%														
目的	防災行政無線施設及び設備等について、保守点検、修繕等により維持管理する。																	
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成20年度に整備した市防災行政無線に加え、以前からある峰山町・網野町・丹後町の同報系・移動系無線と、弥栄町の移動系無線について、日常の保守点検、維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ インクカートリッジほか消耗品 404千円 ○ 防災行政無線屋外拡声子局等電気代 2,436千円 ○ 防災行政無線施設修繕料 2,196千円 親局（丹後町）、子局修理（大宮・網野・久美浜）、バッテリー交換等 ○ 防災行政無線（同報系）地区遠隔制御装置回線使用料等 3,045千円 （消防本部、福祉事務所を含む各庁舎間を結ぶ遠隔制御装置ほか） ○ 防災行政無線設備火災保険料 38千円 ○ 西山通信施設、小金山中継局周辺草刈委託料 149千円 ○ 戸別受信機設置等委託料 2,611千円 ○ 防災行政無線設備保守点検委託料 20,870千円 ○ 防災行政無線敷地借上料（丹後町2か所 1,562㎡） 16千円 ○ 電波利用料（同報系・移動系） 2,881千円 ○ 防災行政無線等操作線関電柱共架料（網野町内） 3千円 ○ 戸別受信機購入代（丹後町分） 1,197千円 ○ 無線従事者養成講習会受講経費（職員2人分） 93千円 ○ 西山通信施設電気代負担金（京都府施設借用分） 138千円 ○ 職員出張旅費 38千円 <p>※ 戸別受信機利用台数（H24.3.31現在）（単位：台）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>峰山</th> <th>大宮</th> <th>網野</th> <th>丹後</th> <th>弥栄</th> <th>久美浜</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,521</td> <td>2,888</td> <td>4,462</td> <td>2,411</td> <td>1,783</td> <td>3,221</td> <td>19,286</td> </tr> </tbody> </table>				峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計	4,521	2,888	4,462	2,411	1,783	3,221	19,286
峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計												
4,521	2,888	4,462	2,411	1,783	3,221	19,286												
主な財源	繰入金 地域振興基金繰入金			20,000千円														
評価・課題等	<p>○定期的な保守点検や修繕等を行い、適正な維持管理に努めることで、有事の際に迅速かつ的確な情報を市民に周知することができた。</p> <p>○今後、アナログ式である峰山町域の無線設備を、デジタル化するための検討をする必要がある。</p>																	
事業所管課	企画総務部／総務課																	

予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	01防災会議運営事業	
細事業名	01 防災会議運営事業			決算書	P.286
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	
63千円		64千円	1千円	98.4%	
目的	京丹後市防災計画の作成及びその実施を推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京丹後市地域防災計画の修正について協議し、防災計画原子力発電所事故対策編策定について中間報告を行った。 また、第2回目の会議において、9人の方に京丹後市防災会議委員の委嘱を行った。</p> <p>第1回目 開催日時 平成23年11月2日 出席委員数 18人（報酬対象委員7人） 内容 ・地域防災計画の修正（平成22年度着手分）について ・地域防災計画の修正（平成23年度着手分）の概要について</p> <p>第2回目 開催日時 平成24年3月27日 出席委員数 16人（報酬対象委員7人） 内容 ・地域防災計画震災対策編の修正(平成23年度着手分)について ・地域防災計画原子力発電所事故対策編の中間報告について ・防災会議委員の委嘱（9人）</p> <p>○ 委員報酬 7人×4千円×2回分 56 千円 ○ 費用弁償 7人×2回分 7 千円</p>				
	主な財源				
評価・課題等	会議では専門性が高い内容の説明を求められる部分もあり、より活発な議論ができるよう、会議の運営等を工夫する必要がある。				
事業所管課	企画総務部／総務課				

予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	06災害支援対策経費
細事業名	01 災害支援対策経費			決算書 P.288
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
3,803千円		4,050千円	247千円	93.9%
目的	東日本大震災の発生を受け、被災地・被災者への災害支援を実施する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>災害支援活動のための職員派遣に要する経費のほか、支援物資輸送代や東日本大震災関連広報号外の発行など、災害支援対策に係る経費を執行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職員出張旅費 1,399 千円 <ul style="list-style-type: none"> 給水支援 4月4日～19日 岩手県盛岡市：4人、 5月13日～6月1日 岩手県陸前高田市：8人 保健師派遣オリエンテーション 4月6日 京都市：1人 保健師派遣 4月16日～21日 福島県会津若松市：2人 職員派遣 8月1日～9月30日 岩手県陸前高田市復幸応援センター：1人、 10月1日～3月31日 福島県国見町：1人 ○ 支援活動用物資及びその他消耗品、燃料、飲物等購入 171 千円 <ul style="list-style-type: none"> ガムテープ、クリアケース等 ○ 東日本大震災関連広報号外等印刷代（3回）、折込手数料 342 千円 ○ 支援物資輸送代 1,659 千円 <ul style="list-style-type: none"> 向日市（京都府支援物資取りまとめ先）：1回 岩手県（盛岡市、遠野市、宮古市、釜石市）：7回 福島県（相馬市、会津若松市、須賀川市）：6回 ○ 給水支援活動に伴う大型バス借上料（5回） 227 千円 ○ 陸前高田市復幸応援センター宿舎経費職員派遣市負担金 5 千円 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○給水活動等のための職員派遣や物資送付の支援の実施により、復旧初期支援を行った。また、復興応援として岩手県陸前高田市、行政補充として福島県国見町へ、それぞれ職員の長期派遣を行った。</p> <p>○今後も必要に応じて支援を継続していく必要がある。</p>			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	50災害対策一般経費
細事業名	01 災害対策一般経費			決算書 P.290
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
32,898千円		34,070千円	1,172千円	96.5 %
目的	災害に備えるため、備蓄資材の購入や各種防災用機器の維持管理を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>災害時に備えた備蓄物資の購入、防災訓練や各種防災用機器等の維持管理に要する経費のほか、自主防災組織育成のための補助金など、災害対策に係る一般経費を執行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職員人件費（大雨 5月11日・8月23日・8月25日：計43人、大雪 17,332 千円 1月23日～：計25人、台風 2号・12号・15号：計806人による災害対策本部設置） ○防災講演会講師謝礼、京丹後市地域防災リーダー研修会講師謝礼 120 千円 （防災講演会3回開催：約190人参加、地域防災リーダー研修会：約100人参加） ○職員出張旅費 141 千円 ○災害対策用備蓄物資、その他消耗品、燃料、飲物等及び土のう用山土 363 千円 ○防災訓練啓発チラシ印刷代 68 千円 ○電気・電話代等（冠水警報通報装置、箱石備蓄倉庫） 152 千円 ○防災装置等修繕料（防災システム用UPS、箱石備蓄倉庫自火報等） 145 千円 ○手数料・保険料（水質検査、廃油処理、ごみ処理、チラシ折込等） 265 千円 ○避難所標高計測・設置（77か所） 2,728 千円 ○箱石備蓄倉庫消防設備保守点検 80 千円 ○雨量観測（切畑・木津）、冠水通報装置（芦原・平田）保守管理等 82 千円 ○市道通行止によるバス路線変更に伴う住民送迎委託（2月間、筆石・乗原） 66 千円 ○地域防災計画改訂支援業務委託 3,255 千円 （震災対策編、原子力発電所事故対策編（暫定計画）の修正） ○防災情報管理システム（京都府・京丹後市システム）保守業務委託 855 千円 ○会場借上料、公用車駐車料金、土地借上料、電波利用料 21 千円 ○災害対応に係る工事請負費等 6,307 千円 （慶徳院裏山崩壊対応、網野町島津・丹後町平緊急対策工事等） ○自主防災組織資機材購入補助金（17団体）、その他負担金 865 千円 ○その他 53 千円 			
主な財源	府補	未来づくり交付金（緊急防災対策事業）		715千円
	府補	未来づくり交付金（自主防災組織支援事業）		400千円
	繰入金	災害対策基金繰入金		2,000千円
評価・課題等	<p>○前年度に比べ、多くの災害が発生したことにより多くの職員で対応にあたった。災害が長期にわたる場合の交代要員等、職員動員体制の見直しを検討・実施する必要がある。</p> <p>○沿岸部の避難所に標高看板を設置し、津波に対する備えを行った。</p>			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	06災害支援対策経費		
細事業名	02 東日本大震災災害支援活動補助金			決算書 P.288		
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率		
4,028千円		4,028千円	0千円	100.0%		
目的	東日本大震災被災地の早期復旧・復興を願い、市内の団体等が実施する被災地及び被災者の支援活動に対し補助金を交付する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○東日本大震災災害支援活動補助金		4,028千円			
	(単位：人、千円)					
	団体名	実施時期及び場所	主な活動内容	参加人数	総事業費	補助金額
	島津機業組合	H23.5.27~5.29 宮城県南三陸町	炊き出しほか	19	591	208
	京丹後市商工会青年部	H23.7.21~7.24 福島県いわき市	土砂撤去作業ほか	9	422	421
	NPO法人GREENPLAN	H23.9.13~9.16 岩手県下閉伊郡山田町	炊き出し、支援に関する 現地ヒアリング	6	162	54
	NPO法人音楽のまちづくり	H23.10.11~10.14 岩手県遠野市ほか	復興支援コンサートの開催、 花壇等の整備	8	541	419
	ゆるりと息の長いボランティアを続ける丹後の会	H23.10.11~10.14、 H23.10.28~10.31 岩手県遠野市	土砂撤去作業ほか	20	596	421
	異業種交流会たまたま箱	H23.10.28~10.30 岩手県陸前高田市	土砂撤去作業ほか	54	1,940	1,000
	丹後読み聞かせ実行委員会	H23.11.27~11.30、 H24.3.17~3.20 岩手県大槌町、陸前高田市	仮設住宅の訪問、保育所 等での朗読コンサート、 ふれあいカフェほか	11	504	421
	琴引浜の鳴り砂を守る会	H23.6.11~6.13、 H23.11.18~11.21 宮城県気仙沼市、女川町	土砂撤去作業ほか	16	189	188
食と健康	H24.3.19~3.22 岩手県遠野市ほか	瓦礫撤去作業、足湯設置、 仮設住宅訪問ほか	15	370	370	
大宮町口大野区	H24.3.9~3.11 福島県国見町	避難施設内外の清掃、サ ロン活動、炊き出しほか	26	804	526	
合 計			10団体	184	6,119	4,028
主な財源	府補 被災地支援緊急特例交付金			421千円		
評価・課題等	○市内の団体等が実施する被災地及び被災者の支援活動に対し、補助金を交付することにより、被災地の復旧・復興につながる支援を行うことができた。 ○当該補助金については、平成24年度当初予算における付帯決議を受け、ボランティア活動そのものへの支援を主にするものではなく、東日本大震災という特別な災害における被災地等への支援活動を通じた「市民力」の醸成と活性化を推進するものとして見直すこととした。(平成24年7月から)					
事業所管課	市民部／市民協働課					